

鳴門教育大学大学院学校教育研究科履修規程

平成16年 4月 1日
規程第 52号

改正 平成17年 3月14日規程第16号
平成18年 2月22日規程第7号
平成19年 3月23日規程第31号
平成20年 3月26日規程第71号
平成21年 2月27日規程第5号
平成22年 3月24日規程第12号
平成23年 3月23日規程第14号
平成24年 3月19日規程第11号
平成25年 3月14日規程第10号
平成26年 2月27日規程第4号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人鳴門教育大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第68条の規定に基づき、鳴門教育大学大学院学校教育研究科（以下「本研究科」という。）において開設する授業科目、単位数及び履修方法等について定める。

(専攻・コース)

第2条 本研究科の人間教育専攻、教科・領域教育専攻及び高度学校教育実践専攻の学生は、それぞれ専門分野に関して高度の専門性を深化させるとともに、更に理論的・実践的な教育研究の能力を得させるため、別表第1に定めるいずれかの学生の主たる専攻のコースに所属しなければならない。

(授業科目の区分及び内容)

第3条 授業科目の区分及びその内容は、人間教育専攻、特別支援教育専攻及び教科・領域教育専攻（以下「修士課程」という。）については別表第2、高度学校教育実践専攻（以下「専門職学位課程」という。）については別表第3のとおりとする。

(修了に必要な単位数)

第4条 本研究科の修了に必要な単位数は、修士課程については別表第4、専門職学位課程については、別表第5のとおりとする。

(開設授業科目、単位数及び履修方法等)

第5条 本研究科において開設する授業科目、単位数及び履修方法等は、修士課程については別表第6、専門職学位課程については別表第7のとおりとする。

(学部の授業科目の履修)

第6条 学生は、鳴門教育大学学校教育学部（以下「学部」という。）において開設する授業科目を履修することができる。ただし、授業科目によっては、履修を許可しない場合がある。

- 2 前項前段の規定により授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、学則第73条第1項に規定する修了要件の単位数には含めない。
- 3 第1項前段の規定により、在学年限内で履修することができる授業科目の単位数は、40単位以内とする。
- 4 前3項に定めるもののほか、学生の学部の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に

定める。

(学校教員養成プログラム)

第6条の2 修士課程の学生のうち、教育職員免許状の所要資格を得させるためのプログラム(以下「学校教員養成プログラム」という。)の受講を許可された者は、学部において開設する授業科目のうち、別に定める幼稚園、小学校及び中学校のいずれかの教育職員免許状授与の所要資格を得るための授業科目を履修することができる。ただし、特別支援教育専攻の学生は、特別支援学校の教育職員免許状授与の所要資格を得るための授業科目について、幼稚園教員養成プログラムの学生は、児童福祉法施行規則(昭和23年厚生省令第11号)第6条の2第1項第3号に規定する厚生労働大臣の定める修業教科目として必要な授業科目についても履修することができる。

2 前項に規定により授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、修得した単位は、学則第73条第1項に規定する修了要件の単位数には含まない。

3 第1項の規定により学校教員養成プログラムの受講を許可された者が履修登録することができる単位数の上限は、第1年次においては前期26単位及び後期26単位とし、第2年次及び第3年次においてはそれぞれ前期及び後期を合わせて26単位とする。ただし、休学した期間がある場合は、休学期間分を繰り延べた上で履修登録することができる単位数の上限を適用する。

4 前3項に定めるもののほか、教育職員免許状授与の所要資格を得るための授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

5 学校教員養成プログラムの受講を許可された者の本研究科において開設する授業科目の履修については、第2年次からとする。

6 学校教員養成プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(遠隔教育プログラム)

第6条の3 修士課程の学生のうち、現職教員等を対象としたインターネットを用いた遠隔教育による大学院プログラム(以下「遠隔教育プログラム」という。)の受講を許可された者に係る開設授業科目、単位数及び履修方法等は、第5条の規定にかかわらず、別表第8のとおりとする。

2 遠隔教育プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(教育職員の免許状)

第7条 学生の所属する専攻・コースにおいて所定の単位数を修得することによって教育職員免許状の授与資格を取得することができる教育職員免許状の種類は、別表第9のとおりとする。ただし、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める当該免許状取得のための所要資格を有していなければならない。

2 所属する専攻・コース以外の教育職員免許状の授与資格を取得しようとする場合は、該当する専攻・コースの教育職員の免許状取得のための所要資格を有し、かつ、指定の授業科目から所定の単位数を修得しなければならない。

(履修登録)

第8条 学生は、当該学年内に履修しようとする授業科目について、所定の方法により履修登録を行わなければならない。

(履修登録上限単位数)

第8条の2 専門職学位課程に所属する学生が1年間に履修登録することができる単位数

の上限は、38単位とする。

(定期試験)

第9条 定期試験は、当該授業科目の授業が終了する学期末に行うものとする。

2 試験は、筆記若しくは口述による試験又は報告書、作品若しくは実技の審査によって行うものとする。

(追試験)

第10条 天災地変、その他特別の事情があるときは、教授会の議を経て追試験を行うことができる。

(成績評価の基準)

第11条 成績の判定は、平素の学修状況、出席状況、学修報告、論文及び試験等によって行うものとする。

2 学則第49条に規定する成績評価の基準は、S(100点から90点まで)、A(89点から80点まで)、B(79点から70点まで)、C(69点から60点まで)及びD(59点以下)とする。

3 学生は、一度合格と判定された授業科目については、取り消すこと又は再履修することができない。

(単位の認定)

第12条 単位の認定については、当該授業科目の授業が終了する学期末に行うものとする。

2 学則第84条第3号から第5号の一の規定により除籍された者については、当該期間に履修した授業科目の単位は認定しない。

(不正行為)

第13条 第9条及び第10条に規定する試験の際に学生が不正行為を行った場合には、学校教育研究科長は、教授会の議を経て、当該学生の当該学期に履修した全授業科目に係る成績を不合格とする。

(細則)

第14条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。ただし、この規程の施行日において、第2年次に在学する者に係る教育職員免許状の授与資格、専攻・コース、授業科目の区分及び内容、修了に必要な単位数並びに開設授業科目、単位数及び履修方法等については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。ただし、この規程の施行日において、第2年次に在学する者に係る授業科目の区分及び内容、修了に必要な単位数、開設授業科目、単位数及び履修方法等、教育職員の免許状及び成績評価の基準については、改正後の第3条から第5条まで、第7条及び第11条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。ただし、この規程の施行日において、第2年次に在学する者に係る専攻・コース、開設授業科目、単位数及び履修方法等並びに教育職員の免許状については、改正後の第2条、第5条及び第7条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成18年度以前に入学した者に係る専攻・コース，授業科目の区分及び内容，修了に必要な単位数，開設授業科目，単位数及び履修方法等並びに教育職員の免許状については，改正後の第2条から第5条まで及び第7条の規定にかかわらず，なお従前の例による。ただし，別表第4の改正規程中，学校教育専攻学校改善コースの専門科目のうち学校教育リーダー演習VI（教育政策分析演習）を履修することができる。

附 則

この規程は，平成20年4月1日から施行する。ただし，この規程の施行日において，第2年次に在学する者に係る専攻・コース，授業科目の区分及び内容，修了に必要な単位数，開設授業科目，単位数及び履修方法等並びに教育職員の免許状については，改正後の第2条から第5条まで及び第7条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則

この規程は，平成21年4月1日から施行する。ただし，この規程の施行日において，平成20年度入学者を除く第2年次に在学する者に係る開設授業科目，単位数及び履修方法等については，改正後の第5条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

また，この規程の施行日において，第2年次に在学する者に係る学校教員養成プログラムについては，改正後の第6条の2の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則

この規程は，平成22年4月1日から施行する。ただし，この規程の施行日において，第2年次に在学する者に係る専攻・コース，授業科目の区分及び内容，修了に必要な単位数，開設授業科目，単位数及び履修方法等については，改正後の第2条，第3条，第4条及び第5条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則

この規程は，平成23年4月1日から施行する。ただし，この規程の施行日において，第2年次に在学する者に係る開設授業科目，単位数及び履修方法等については，改正後の第5条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は，平成24年4月1日から施行する。
- 2 鳴門教育大学大学院学校教育研究科学生の学部の授業科目履修に関する細則（平成16年細則第7号）は，廃止する。
- 3 この規程の施行日において，第2年次に在学する者に係る修了に必要な単位数，開設授業科目，単位数，及び履修方法等については，改正後の第4条及び第5条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は，平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前に入学した者については，改正後の第2条，第3条，第4条，第5条，第6条の2及び第7条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は，平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度以前に入学した者については，改正後の第5条，第6条の3及び第7条の規定にかかわらず，なお従前の例による。

別表第1（第2条関係）

専攻	コース	
人間教育専攻	人間形成コース	
	幼年発達支援コース	
	現代教育課題総合コース	
	臨床心理士養成コース	
教科・領域教育専攻	言語系コース	国語
		英語
	社会系コース	
	自然系コース	数学
		理科
	芸術系コース	音楽
		美術
	生活・健康系コース	保健体育
技術・工業・情報		
家庭		
国際教育コース		
高度学校教育実践専攻	教職実践力高度化コース	
	教員養成特別コース	

別表第2（第3条関係：修士課程）

区 分		内 容
教職共通科目		現代の教育課題をふまえ、教育実践の基盤として必要な教職基礎理論を総合的に身に付けることをねらいとする科目として開設する。
専 門 科 目	領域等内容科目	領域等の理論的、専門的知識を身に付けるとともに、実践的・理論的な研究能力を高めることをねらいとする科目として開設する。
	領域等方法科目	領域等の方法、技法に関する専門的知識を身に付けるとともに、実践的・理論的な研究能力を高めることをねらいとする科目として開設する。
応 用 実 践 科 目	広領域コア科目	現代の教育課題に応えうる教育実践を構想し、展開するための知識と観点の形成をねらいとする科目として開設する。
	教育実践フィールド研究	教員として高度な教育実践能力を養成することを目的とし、理論的な知識を学校現場で応用及び検証するための科目として開設する。
課 題 研 究		学生の教育研究課題を考慮して開設し、修士論文に発展させる。

別表第3（第3条関係：専門職学位課程）

区 分		内 容
共 通 科 目		学校現場における教育課題に対応する5領域について、事例研究等を通して実践的・体系的な知識を習得し、学校における実践場面において、リーダーシップを発揮することのできる教員としての基層的な力量の形成を図る。
専 門 科 目		各科目群の専門性に応じた科目を設定し、実習科目との関連を図りながら学校現場の教育課程を理論的・実践的に分析し、専門職としての高度の実践的な問題解決能力・開発能力を育成する。
実 習 科 目		共通科目、専門科目で習得をした内容をふまえ、それらの知識、技能等を学校現場で検証、修正していくことを通して、実践と理論の融合を図る。

別表第4（第4条関係：修士課程）

区 分		人間教育専攻	特 別 支 援 教 育 専 攻	教科・領域教育専攻	
				国 際 教 育 コ ー ス を 除 く	国 際 教 育 コ ー ス
教 職 共 通 科 目		4 単 位	4 単 位	4 単 位	—
専 門 科 目	領 域 等 内 容 科 目	1 2 単 位	1 2 単 位	1 2 単 位	1 2 単 位
	領 域 等 方 法 科 目				
応 用 実 践 科 目	広 領 域 コ ア 科 目	4 単 位	4 単 位	4 単 位	—
	教 育 実 践 フィールド研究	4 単 位	4 単 位	4 単 位	—
課 題 研 究		6 単 位	6 単 位	6 単 位	6 単 位
自 由 選 択 科 目		—	—	—	1 2 単 位
合 計		3 0 単 位	3 0 単 位	3 0 単 位	3 0 単 位

備 考

自由選択科目は、各専攻の専門科目の授業科目のうちから選択すること。

別表第5（第4条関係：専門職学位課程）

区 分	高 度 学 校 教 育 実 践 専 攻	
	教 職 実 践 力 高 度 化 コ ー ス	教 員 養 成 特 別 コ ー ス
共 通 科 目	2 0 単 位	2 0 単 位
専 門 科 目	1 8 単 位	1 6 単 位
実 習 科 目	1 0 単 位	1 2 単 位
合 計	4 8 単 位	4 8 単 位

別表第6（第5条関係：修士課程）

1 教職共通科目

所属する専攻・コース	授 業 科 目	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
全 専 攻 ・ コース	学校教育の人間形成的役割		2	各専攻・コースの学生は左記の授業科目の中から2科目4単位を履修すること。
	現代の諸課題と学校教育Ⅰ		2	
	子ども理解と生徒指導		2	
	子どもの発達支援		2	

2 専門科目

(1) 領域等内容科目

所属する専攻・コース	授 業 科 目	単 位 数		履 修 方 法	
		必修	選択		
人 間 教 育 専 攻	人間形成コース	人間形成文化史研究		2	自己の所属する専攻・コースの授業科目を選択し、領域等方法科目と合わせて12単位以上履修すること。
		教育哲学研究		2	
		教育認知心理学研究		2	
		発達健康心理学研究		2	
		比較教育社会学研究		2	
	幼年発達支援コース	幼年期教育学研究		2	
		幼年期福祉研究		2	
		こころの発達支援研究		2	
		幼年発達心理研究		2	
		幼年発達と幼児教育内容論		2	
	現代教育課題総合コース	現代総合学習論		2	
		現代の子どもと学校教育		2	
		現代教育人間論		2	
		現代の諸課題と学校教育Ⅱ		2	
		総合学習カリキュラム開発特論		2	
文化とコミュニケーション		2			
人間と文化Ⅰ（基礎研究）		2			
コミュニケーションと環境		2			

人間教育専攻	現代教育課題総合コース	人間とコミュニケーションI(基礎研究)		2	※ 遠隔教育プログラムを受講する学生に限る。
		環境と文化		2	
		現代教育実践論		2	
		現代学校文化論		2	
		現代学習環境論		2	
		現代教育情報論		2	
		総合学習とカリキュラムマネジメント		2	
	臨床心理士養成コース	心理療法研究		2	※ 臨床心理士養成コースに所属する学生に限る。
		精神医学研究		2	
		精神医学文献演習		2	
		臨床心理学研究Ⅰ		2	
		臨床心理学研究Ⅱ		2	
		臨床心理面接研究Ⅰ		2	
		臨床心理面接研究Ⅱ		2	
心理臨床特別研究		2			
学校精神保健学研究		2			
社会心理学研究		2			
特別支援教育専攻	特別支援教育学研究論Ⅰ		2	※ 特別支援教育コーディネーター養成分野に所属する学生に限る。	
	特別支援教育課程特論演習		2		
	特別支援教育学習心理学研究論		2		
	発達障害児病理・病態生理学研究		2		
	発達障害児生理・発達学研究		2		
	特別支援教育コーディネーター概論	2			
	特別支援教育コーディネーター実践論	2			
教科・領域教育専攻	言語系コース	日本古典語研究		2	※ 特別支援教育コーディネーター養成分野に所属する学生に限る。
		日本古典語演習		2	
		現代日本語研究		2	
		現代日本語演習		2	
		日本文学研究Ⅰ		2	
		日本文学演習Ⅰ		2	
		日本文学研究Ⅱ		2	
		日本文学演習Ⅱ		2	
		言語教育基礎論Ⅰ		2	
		日本語教育学研究		2	
		社会言語学研究		2	
対照言語学研究		2			

教科・領域教育専攻	言語系コース	日本語文法研究	※	2	※ 日本語教育分野の授業科目である。
		日本語教育学演習		2	
		社会言語学演習		2	
		言語習得・発達論		2	
		日本語文法演習		2	
		日本語音声表現研究		2	
		日本語語彙論		2	
		日本事情・日本文化	外国人留学生に限る。ただし、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」、「日本語Ⅳ」は、終了要件としての単位には、含まない。	2	
		日本語Ⅰ		2	
		日本語Ⅱ		2	
		日本語Ⅲ		2	
		日本語Ⅳ		2	
		英語学研究Ⅰ（英文法理論）		2	
		英語学研究Ⅱ（言語表現）		2	
		学習英文法演習Ⅰ		2	
		学習英文法演習Ⅱ		2	
		言語教育基礎論Ⅱ		2	
		英米文化研究Ⅰ（文化史）		2	
		英米文化研究Ⅱ（現代文化研究）		2	
		英米文化研究Ⅲ（言語文化研究）		2	
		英米文学応用演習Ⅰ		2	
		英米文学応用演習Ⅱ		2	
		アカデミック・ライティングⅠ		2	
		アカデミック・ライティングⅡ	2		
		パブリック・スピーキング	2		
		小学校英語教育演習	2		
		社会系コース	四国遍路と地域文化	2	
歴史学研究Ⅰ	2				
歴史学演習Ⅰ	2				
歴史学研究Ⅱ	2				
歴史学演習Ⅱ	2				
歴史学研究Ⅲ	2				
歴史学演習Ⅲ	2				
地理学研究Ⅰ	2				
地理学演習Ⅰ	2				
地理学研究Ⅱ	2				
地理学演習Ⅱ	2				
地図表現学研究	2				

教科・領域教育専攻	社会系コース	地図表現学演習	2
		地理学実習	1
		法学・政治学研究	2
		法学・政治学演習	2
		社会学研究	2
		社会学演習	2
		経済学研究	2
		経済学演習	2
		哲学・倫理学研究	2
		哲学・倫理学演習	2
		公民系文献研究	2
	自然系コース	代数学研究	2
		代数学演習	2
		幾何学研究	2
		幾何学演習	2
		解析学研究	2
		解析学演習	2
		数理科学研究	2
		数理科学演習	2
		物理学特論Ⅰ	2
		物理学特論Ⅱ	2
		物理学特論Ⅲ	2
		物理学特論Ⅳ	2
		有機化学特論	2
		物理化学特論	2
		無機化学特論	2
		環境化学特論	2
化学特別演習Ⅰ	2		
化学特別演習Ⅱ	2		
生物科学特論Ⅰ	2		
生物科学特論Ⅱ	2		
生物科学演習Ⅰ	2		
生物科学演習Ⅱ	2		
宇宙科学特論	2		
地球科学特論Ⅰ	2		
地球科学特論Ⅱ	2		
地質学・古生物学特論	2		
地学実験法特論	2		

教科・領域教育専攻	芸術系コース	声楽発声法	2		
		歌唱表現演習	2		
		音楽劇総合演習	2		
		ピアノ演奏基礎演習	2		
		ピアノ演奏法	2		
		学校教材ピアノ伴奏法	2		
		管弦打楽器演奏基礎	2		
		管弦打楽器総合演習	2		
		室内楽（器楽）	2		
		ソルフェージュ研究	2		
		指揮法基礎演習	2		
		楽曲分析研究	2		
		作曲法基礎演習	2		
		絵画制作研究	2		
		油画制作演習	2		
		版画制作演習	2		
		彫刻制作研究	2		
		石彫制作演習	2		
		デザイン制作研究	2		
		映像デザイン演習	2		
		工芸制作研究	2		
		陶芸制作演習	2		
		総合造形研究	2		
		芸術学研究	2		
		芸術学演習	2		
		生活・健康系コース		スポーツ人間学研究	2
				スポーツ人間学演習	2
				スポーツ社会学研究	2
				スポーツ社会学演習	2
学校体育経営研究	2				
学校体育経営演習	2				
体育・スポーツ心理学研究	2				
体育・スポーツ心理学演習	2				
運動学研究	2				
運動学演習	2				
スポーツ・バイオメカニクス研究	2				
スポーツ・バイオメカニクス演習	2				
スポーツ・トレーニング研究	2				
スポーツ・トレーニング演習	2				

教科・領域教育専攻	生活・健康系コース	学校保健学研究	2
		学校保健学演習	2
		健康科学研究	2
		健康科学演習	2
		運動生理学研究	2
		運動生理学演習	2
		情報処理研究	2
		コンピュータ科学研究	2
		エネルギー工学研究	2
		エネルギー工学演習	2
		機械工学研究	2
		機械工学演習	2
		材料及び加工学研究	2
		材料及び加工学演習	2
		木質材料加工法演習	2
		光工学研究	2
		情報科学研究	2
		コンピュータ科学演習	2
		シミュレーション研究	2
		計算力学研究	2
		計算力学演習	2
		デジタル制御研究	2
		信号情報処理研究	2
		画像情報処理研究	2
		プログラミング演習	2
		情報応用演習	2
		情報技術演習	2
		家族・ジェンダー研究	2
		家族・ジェンダー論演習	2
		生活経営学研究	2
		生活経営学演習	2
		衣生活学研究	2
衣生活学演習	2		
食生活学研究	2		
食生活学演習	2		
住生活学研究	2		
住生活学演習	2		
国際教育コース	国際教育人間論	2	
	国際教育演習 I	2	

国際教育コース	国際教育演習Ⅱ	2
	教育研究・調査	2
	国際教育協力特論Ⅰ	2
	国際教育協力特論Ⅱ	2
	国際教育協力研究	2
	実践英語研究	2
	外国語運用能力強化演習Ⅰ	2
	外国語運用能力強化演習Ⅱ	2

(2) 領域等方法科目

所属する専攻・コース	授業科目	単位数		履修方法		
		必修	選択			
人間教育専攻	人間形成コース	近代教育文化史演習		2	自己の所属する専攻・コースの授業科目を選択し、領域等内容科目と合わせて12単位以上履修すること。	
		教育哲学演習		2		
		教育認知心理学演習		2		
		発達健康心理学演習		2		
	幼年発達支援コース	幼年発達と幼児教育内容論演習		2		
		幼年期教育学演習		2		
		幼年期福祉演習		2		
		こころの発達支援演習		2		
		幼年発達心理演習		2		
	現代教育課題総合コース	総合学習カリキュラム開発演習		2		※ 遠隔教育プログラムを受講する学生に限る。
		人間と文化Ⅱ（地域研究A）		2		
		人間と文化Ⅲ（地域研究B）		2		
		人間と文化Ⅳ（実践研究）		2		
		人間とコミュニケーションⅡ（実践研究A）		2		
		人間とコミュニケーションⅢ（実践研究B）		2		
人間と環境Ⅰ（基礎研究）			2			
人間と環境Ⅱ（実践研究A）			2			
人間と環境Ⅲ（実践研究B）			2			
現代教育課題特論			2			
異文化理解と人間形成		2				
現代学校経営・授業改善論		2				
教育情報化特論Ⅰ（教材・授業開発論）		2				

人間教育専攻	現代教育課題総合コース	教育情報化特論Ⅱ（実践論） 現代授業メディア論		2 2	※ 臨床心理士養成コースに所属する学生に限る。
	臨床心理士養成コース	臨床心理コロキウム		2	
		臨床心理学研究法特論		2	
		臨床心理学演習		2	
		臨床心理面接演習		2	
		臨床心理査定演習Ⅰ		2	
		臨床心理査定演習Ⅱ		2	
		臨床心理基礎実習		2	
		臨床心理実習		2	
		面接指導基礎実習		2	
		面接指導実習		2	
	学校精神保健学演習		2		
	臨床心理学統計法		2		
特別支援教育専攻	特別支援教育学研究論Ⅱ		2		
	特別支援教育指導特論演習		2		
	特別支援教育臨床心理学研究論		2		
	特別支援教育臨床支援技法演習		2		
	特別支援教育学習支援演習		2		
	発達障害児支援医学演習		2		
	発達障害児神経学演習		2		
	社会資源開発運用・連携論	2			
	特別支援教育コーディネーター実地教育	4			
教科・領域教育専攻	言語系コース	国語科教育学研究		2	※ 日本語教育分野の授業科目である。
		国語科教育学演習		2	
		国語科授業研究		2	
		国語科授業演習		2	
		国語科教材開発研究		2	
		国語科教材開発演習		2	
		日本語教育法研究	※	2	
		日本語教育法演習		2	
		日本語教育実習		2	
		英語科教育特論Ⅰ		2	
		英語科教育特論Ⅱ		2	
		英語科教育特論Ⅲ		2	
		英語科教育演習Ⅰ		2	

教科・領域教育専攻	言語系コース	英語科教育演習Ⅱ	2
		英語科教育演習Ⅲ	2
	社会系コース	現代の諸課題と社会認識教育	2
		社会科教育学研究	2
		社会科授業研究	2
		社会科教材開発演習Ⅰ(地理領域)	2
		社会科教材開発演習Ⅱ(歴史領域)	2
		社会科教材開発演習Ⅲ(公民領域)	2
	自然系コース	数学科教育学研究	2
		数学科教育学演習	2
		数学科授業研究	2
		数学科教材開発研究	2
		数学科教材開発演習	2
		理科教育学研究	2
		理科授業研究	2
		理科教材開発研究Ⅰ(物質とエネルギー)	2
		理科教材開発研究Ⅱ(自然環境と生物)	2
	芸術系コース	音楽科授業研究	2
		音楽科授業演習	2
		音楽科教育研究	2
音楽教育史研究		2	
美術科教育学研究		2	
美術科授業研究		2	
美術科教材開発研究		2	
美術科教育研究法演習		2	
生活・健康系コース	保健体育科教育学研究	2	
	保健体育科教育学演習	2	
	体育教授学研究	2	
	体育教授学演習	2	
	技術科教育研究	2	
	技術科教育演習	2	
	教育と情報活用	2	
	情報科教育研究Ⅰ	2	
	情報科教育研究Ⅱ	2	
	家庭科教育学研究	2	

教科 ・ 領域 教育 専攻	生活・健康系コース	家庭科教育学演習		2
		家庭科授業・教材開発研究		2
	国際教育コース	国際教育協力演習		2
		国際理解教育特論Ⅰ		2
		国際理解教育特論Ⅱ		2
		国際理解教育演習		2
		国際教育総合セミナーⅠ		2
		国際教育総合セミナーⅡ		2

3 応用実践科目

(1) 広領域コア科目

所属する専攻・コース	授 業 科 目	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
全専攻・コース	子どもの規範意識の現状と課題		2	各専攻・コースの学生は左記の授業科目の中から2科目4単位を履修すること。
	コミュニケーションと言語・教育		2	
	教師のための声とからだとことば		2	
	学校危機管理研究		2	
	予防教育科学		2	
	数学と芸術、そして科学間の接点を探る		2	
	伝統文化(音楽・美術)における表現の思想と技法		2	

(2) 教育実践フィールド研究

所属する専攻・コース	授 業 科 目	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
人間 教育 専攻	人間形成コース	教育実践フィールド研究(人間形成)	4	各専攻の学生は、自己の所属する専攻・コースの授業科目1科目4単位を履修すること。
	幼年発達支援コース	教育実践フィールド研究(幼年発達支援)	4	
	現代教育課題総合コース	教育実践フィールド研究(総合)	4	
	臨床心理士養成コース	教育実践フィールド研究 (臨床心理:コミュニティ・アプローチ)	4	

	特別支援教育専攻	教育実践フィールド研究 (特別支援教育)	4	
教科・領域教育専攻	言語系コース	教育実践フィールド研究 (国語科)	4	
		教育実践フィールド研究 (英語科)	4	
	社会系コース	教育実践フィールド研究 (社会科)	4	
	自然系コース	教育実践フィールド研究 (数学科)	4	
		教育実践フィールド研究 (理科)	4	
	芸術系コース	教育実践フィールド研究 (音楽科)	4	
		教育実践フィールド研究 (美術科)	4	
	生活・健康系コース	教育実践フィールド研究 (保健体育科)	4	
		教育実践フィールド研究 (教育と科学技術)	4	
		教育実践フィールド研究 (家庭科)	4	

4 課題研究

所属する専攻・コース	授 業 科 目	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
全専攻・コース	課題研究Ⅰ	4		1 各専攻の学生は、各自の研究課題に応じて、指導教員のもとに履修すること。 2 原則として、課題研究Ⅰについては、第1年次に、課題研究Ⅱについては、第2年次に履修すること。
	課題研究Ⅱ	2		

備 考

講義及び演習の単位は、15時間の授業をもって1単位とし、実験、実習及び実技の単位は、30時間の授業をもって1単位とする。

別表第7（第5条関係：専門職学位課程）

1 共通科目

領域	授業科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
教育課程の編成・実施に関する領域	カリキュラムマネジメントの理論と実践	1		
	教科カリキュラムの構成と理論	1		
	校種間連続カリキュラム構築の理論と実践	1		
教科等の実践的な指導方法に関する領域	授業の理論と実践	1		
	教育評価の理論と実践	1		
	支援を要する子どもの理解と指導	1		
生徒指導，教育相談に関する領域	生徒指導の理論と実践	1		
	教育相談の理論と実践	1		
	進路指導・キャリア教育の理論と実践	1		
学級経営，学校経営に関する領域	学級経営の理論と実践	1		
	学校組織マネジメントの理論と実践	1		
	学校の危機管理の実践と課題	1		
学校教育と教員の在り方に関する領域	チーム総合演習Ⅰ	3		
	チーム総合演習Ⅱ	1		
	教職総合力開発演習(*a)	2		
	教職基礎力開発演習(*b)	2		
	教職キャリア開発演習	2		

(*a)は，教職実践力高度化コースの学生を対象とした科目
(*b)は，教員養成特別コースの学生を対象とした科目

2 専門科目

科目群	授業科目	単位数		履修方法
		必修	選択	
協働力	教職員の協働と組織のマネジメント		1	教職実践力高度化コースにおいては、協働力科目群から2科目2単位、総合実践力科目群から2科目6単位を必修とし、
	同僚性の構築とリーダーシップ		1	
	校内研修の計画と運営		1	
	ワークショップ型研修の技法		1	
	エンカウンターグループ演習		1	
教育実践力	総合的な学習の時間のカリキュラム開発		1	かつ、協働力科目群、教育実践力科目群及び教科・領域専門力科目群から10単位以上を選択し、合わせて18単位以上履修すること。
	学習指導要領と教育課程		1	
	授業実践事例研究		1	
	教材教具の開発演習		1	
	学校教育におけるICT活用と情報デザイン		1	
	学習者の心理と授業		1	
	学校防災教育の開発		1	
	教科等指導の事例研究		1	
	生徒指導・教育相談における関係機関との連携		1	
	子どもの内面理解		1	
	教育相談の技法と実践		1	
	生徒指導実践事例研究		1	
	生徒指導の実践		1	
	子ども理解に基づく学級経営の実践と課題		1	
	人権教育・道徳教育の実践と課題		1	
	家庭・地域・学校の連携構築		1	
学級経営の実践方法論		1		
教科・領域専門力	乳幼児から児童期の発達支援と課題		2	総合実践力科目群から5科目11単位を必修とし、かつ、協働力科目群、教育実践力科目群及び教科・領域専門力科目群から5単位以上を選択し、合わせて16単位以上を履修すること。
	発達障害児への理解と対応		2	
	現代社会の諸課題と社会認識教育		1	
	社会系教科の授業研究		1	
	数学の専門性と教育		2	

総合実践力	学校アセスメント演習(*a)	2	(*a)は、教職実践力高度化コースの学生を対象とした科目 (*b)は、教員養成特別コースの学生を対象とした科目
	キャリア課題演習(*a)	4	
	授業実践研究Ⅰ(*b)	2	
	授業実践研究Ⅱ(*b)	2	
	実践課題研究(*b)	1	
	教育実践演習Ⅰ(*b)	2	
	教育実践演習Ⅱ(*b)	4	

3 実習科目

所属するコース	授 業 科 目	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
教職実践力高度化コース	学校課題フィールドワークⅠ	4		
	地域プロジェクトフィールドワーク	2		
	学校課題フィールドワークⅡ	4		
教員養成特別コース	基礎インターンシップⅠ（子ども理解）	2		
	基礎インターンシップⅡ（授業実践）	2		
	総合インターンシップⅠ（学級理解と実践）	4		
	総合インターンシップⅡ（学校理解と実践）	4		

別表第8 (第6条の3第1項関係)

区分		授業科目	単位数		履修方法
			必修	選択	
教職共通科目		学校教育の人間形成的役割 現代の諸課題と学校教育Ⅰ 子ども理解と生徒指導		2 2 2	左記の授業科目の 中から2科目4単位 を履修すること。
専門 科目	領域等内容科目	現代教育実践論 現代学校文化論 現代学習環境論 現代教育情報論 総合学習とカリキュラムマネジメント 環境と文化		2 2 2 2 2 2	領域等方法科目と 合わせて12単位以 上履修すること。
	領域等方法科目	現代教育課題特論 異文化理解と人間形成 現代学校経営・授業改善論 教育情報化特論Ⅰ(教材・授業開発論) 教育情報化特論Ⅱ(実践論) 現代授業メディア論		2 2 2 2 2	領域等内容科目と 合わせて12単位以 上履修すること。
応用 実践 科目	広領域コア科目	コミュニケーションと言語・教育 学校危機管理研究 予防教育科学		2 2 2	左記の授業科目の 中から2科目4単位 を履修すること。
	教育実践フィールド研究	教育実践フィールド研究(総合)	4		
課題研究		課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	4 2		1 各自の研究課題に 応じて、指導教員のもと に履修すること。 2 原則として、 課題研究Ⅰについては第1 年次に、課題研究Ⅱにつ いては、第2年次に履修 すること。

別表第9（第7条第1項関係）

専攻等		教育職員免許状の種類
人間教育専攻	人間形成コース 現代教育課題総合コース 臨床心理士養成コース	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 〔国語，社会，数学，理科，音楽，美術， 保険体育，保健，技術，家庭，職業， 職業指導，英語，ドイツ語，フランス語， 宗教〕
高度学校教育 実践専攻	教職実践力高度化コース 教員養成特別コース	高等学校教諭専修免許状 〔国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽， 美術，工芸，書道，保健体育，保健，看護， 家庭，情報，農業，工業，商業，水産， 福祉，商船，職業指導，英語，ドイツ語， フランス語，宗教〕 養護教諭専修免許状
人間教育専攻	幼年発達支援コース	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状
特別支援教育専攻		特別支援学校教諭専修免許状（知的障害者に関する教育の領域，肢体不自由者に関する教育の領域，病弱者に関する教育の領域）
教科・領域 教育専攻	言語系コース（国語）	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語） 高等学校教諭専修免許状（国語）
	言語系コース（英語）	中学校教諭専修免許状（英語） 高等学校教諭専修免許状（英語）
	社会系コース	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（社会） 高等学校教諭専修免許状（地理歴史） 高等学校教諭専修免許状（公民）

教科・領域 教育専攻	自然系コース（数学）	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（数学） 高等学校教諭専修免許状（数学）
	自然系コース（理科）	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（理科） 高等学校教諭専修免許状（理科）
	芸術系コース（音楽）	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（音楽） 高等学校教諭専修免許状（音楽）
	芸術系コース（美術）	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（美術） 高等学校教諭専修免許状（美術）
	生活・健康系コース （保健体育）	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（保健体育） 高等学校教諭専修免許状（保健体育） 養護教諭専修免許状
	生活・健康系コース （技術・工業・情報）	中学校教諭専修免許状（技術） 高等学校教諭専修免許状（工業） 高等学校教諭専修免許状（情報）
	生活・健康系コース （家庭）	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（家庭） 高等学校教諭専修免許状（家庭）